

名翔クラブ会派研修会報告書

今般、私たち名翔クラブは、下記のように会派研修をいたしましたので、その概要を報告致します。

日 時：平成27年2月6日（金）午後3時~4時30分

場 所：ホテルメトロポリタン仙台4階「萩」

研修テーマ

「仙台空港の民営化と名取市の観光・まちづくりについて」

講 師：観光庁 観光地域振興課長 川瀧弘之氏

参加者：佐藤正博 山田司郎 山口 實 渡辺 武 本郷一浩

同席：国土交通省東北運輸局 企画観光部

観光地域振興課長 伊藤一哉氏

平成27年2月23日

名翔クラブ代表 本 郷 一 浩



名取市議会

議長 山 口 實 様

仙台空港の民営化と 名取市の観光・まちづくりについて

報告者：山田司郎

日時：平成 27 年 2 月 6 日（金）

15 時 00 分～16 時 30 分

場所：ホテルメトロポリタン仙台
4 階「萩」

講師：観光庁 観光地域振興課長 川瀧弘之 氏

1. 観光を取り巻く現状

●訪日外国人旅行者が 1300 万人超

①台湾 293 万人 ②韓国 276 万人

③中国 241 万人 ④香港 93 万人

→アジアからの訪日が 1000 万人超

●宮城県の外国人宿泊者

①台湾 ②アメリカ ③韓国 ④タイ

→アメリカが多いのが特徴的

2. 観光立国に向けた政府の推進体制

●アクションプログラム

①2020 年オリンピック・パラリンピック

・「オリパラ」を生かしたプロモーション

・文化プログラムの活用

②インバウンドの飛躍的拡大策

・中国、東南アジア、インド、ロシア強化

③ビザ要件の緩和など訪日旅行の容易化

・戦略的なビザ要件の緩和

④世界に通用する観光地域づくり

・多様な広域ルートの開発、提供、発信

・和食文化の発信、農山漁村での滞在促進

・観光振興による被災地の復興支援

⑤外国人旅行者の受け入れ環境整備

・免税制度の拡充

・無料 Wifi の整備促進

・ムスリム旅行者への情報提供

⑥MICE（国際会議）の誘致

・ファーストレーンの設置

・IR（カジノ）について検討

3. 考察

まだまだ国内旅行のシェアが圧倒的に多いが、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを契機に「訪日外国人 2000 万人時代」が来るともいわれており、インバウンドに力を入れることは必要な施策であると考えられる。

そのためには、宮城県とすり合わせを図りながら、外国から直に観光客を呼べる仙台空港を生かした「観光戦略」をしっかりと立てて観光振興とまちづくりに取り組むべきである。

具体的には

●ターゲット国の明確化

●消費税免税店の拡大

●地域住民生活等緊急支援のための交付金の活用

●滞在交流型観光&広域観光ルートづくり

●オリンピック開催国義務である「文化プログラム」づくりと誘致

●スポーツの観光資源化

などが考えられる。

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに前後して、2019 年にラグビーワールドカップ、2021 年には関西ワールドマスタースターズゲームという国際大会が開催される。

「オリパラ」を見据えた観光戦略をしっかりと立て、観光振興による震災からの復興のまちづくりを進めることは本市における喫緊の課題である。